

赤松金芳著「新訂和漢薬」より

生薬名 蒲公英（蒲公英）

新訂和漢薬 記載頁

039

基源 キク科タンポポ属 *Taraxacum* sp. の全草。殊にカントウタンポポ *T. platycarpum* Dahlst.(和漢標本、国訳本網) セイヨウタンポポ *T. officinale* Web., シロバナタンポポ *T. albidum* Dahlst., マスノタンポポ *T. mongolicum* Dahlst.等を用いる。

部位 全草。

作用 無毒。壮筋骨 [本草綱目, 本朝食鑑] 散滞気, 化熱毒 [本草綱目], 解毒 [本朝食鑑, 満洲漢薬], 烏鬚髪 [本朝食鑑], 解凝, 利尿, 健胃 [遠西名物, 和蘭薬鏡], 駆熱, 発散, 排泄 [遠西名物], 潰堅, 消腫, 涼血, 通淋 [満洲漢薬]。

応用 婦人乳癰 [新修本草, 千金翼方, 証類本草, 本草綱目, 本朝食鑑, 満洲漢薬], 悪刺 [証類本草, 本草綱目, 本朝食鑑], 悪瘡 [本草綱目, 本朝食鑑], 狐尿刺瘡 [証類本草, 本草綱目], 水腫 [本草綱目, 本朝食鑑, 和蘭薬鏡], 結核, 丁腫 [本草綱目], 間歇熱, 黄疸, 鬱憂病 [遠西名物, 和蘭薬鏡], 腹水病 [遠西名物], 熱病, 小便閉, 硬腫, 角膜翳 [和蘭薬鏡]。

処方

備考